

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	明石市立ゆりかご園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が連携し、適切な支援の提供を行っている。	医療、リハ、保育と多職種が連携して支援を行っているため、朝礼や会議等で適宜情報共有を行い支援に取り組んでいる。	今後の適宜情報共有を行い、適切な支援が提供できるよう取り組んでいく。
2	遊びを通して様々な経験ができるよう活動プログラムの工夫を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の興味、関心を引き出せるような内容を設定している。 ・感触遊びやクッキングなどを通して様々な感覚(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚など)を使い、そのお子様にあった感じ方ができるようにはたらきかけている。 ・同じねらいの遊びでもお子様が意欲的に取り組めるように変化を取り入れていることや、反対に安心して取り組めるに同じ遊びを繰り返し行い、できることが変化していく過程を保護者の方と共有できるように取り組んでいる。 	今後も“楽しい”という思いから様々な経験ができるように、活動プログラムの工夫を行っていく。
3	きょうだ同士の交流の機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・春休み、夏休み、冬休みの長期休みの期間を利用し、年に3回きょうだいのお楽しみ会を実施して3年目になる。回数を重ねることで顔なじみになってきているため、互いに会えることを楽しみにしている声を聞く。 ・全力でかかわってくれる大人が家族以外にもいるということを知ってもらい、居場所として認識してもらえよう取り組んでいる。 ・ダイナミックな遊び(水鉄砲大会)、季節の遊び(すいか割)、ゆっくり時間をかける取り組み(ケーキのデコレーション)などご家庭ではできないような体験も取り入れるよう心がけている。 	・参加されている年齢層は年少～小学生低学年が中心となっており、高学年になると参加の機会が減ってくる。年齢とともに人間関係や悩みも変化してくるため、今後は年齢が高くなってきたきょうだいに向けてのイベントも検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもと活動する機会が不足している。	今年度より地域のこども園との交流保育を始めたが、送迎バスでの移動ということもあり一度に参加できる人数に限りがあった。そのため、来年度就園予定の方やゆりかご園のみをご利用されている年齢が高い方から参加していただいたため、参加者が少なくなった。	交流させていただいているこども園とは互いに行き来して交流することを検討しており、こども園の職員の方にゆりかご園を知っていただくために見学会を実施した。来年度は今年度よりも活発な交流に向けて取り組んでいく。
2	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の周知が不足していた。	2か月に一度の保護者勉強会等を実施していたが、週に2回としていたため全員の方に参加していただけておらず、資料の配布も十分ではなかった。また、登園日でない方への周知も不足していた。	年間の保護者勉強会の予定をお伝えし、多くの方に参加していただけるよう開催日程の調整を行っていく。当日欠席された方や不参加の方にも、資料を配布することを徹底していく。
3	非常時の対応についての周知や、マニュアル等の説明不足がありました。	曜日によって登園される方が異なるため、避難訓練に参加される回数に偏りが出たことや、周知が不足していた。	非常時の対応についての説明、周知を徹底する。避難訓練の回数を検討する。保護者室にマニュアルを置き、常時確認できるようにする。